

令和4年度 自己評価・施設関係者評価

幼保連携型認定こども園 はるまちこども園

1. 保育理念

子どもたちの主体性を尊重し、子どもの最善の幸せを願いながら保護者や地域社会と共に歩める保育を目指す。

2. 運営方針・目標

- ・保育理念を実現するため、子どもを中心に保護者と保育者が共に育ち合えるこども園を目指す。
- ・保護者、地域と連携を大切に子どもたちをはじめ人から愛されるこども園をめざす。
- ・子どもたちの幸せを願い職員は子どもの姿を学び取りながら、質の高い保育を追求していく。
(子どもの良き理解者であること)

3. 保育方針

- ・子どもが心身ともにその子らしく成長することを見守る。
- ・遊びを通し、生きる根っ子を育ませる。
- ・子ども自身のもつ自己表現、主張を十分に発揮できる力を養う。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

A	大変よい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

項目	内容	評価	取り組み状況
保育・教育目標について	本園の理念・目標・方針が職員に周知されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、目標、方針は毎日目にする場所に掲示し保育計画を立てる際にも振り返りを行っている ・保護者にも入園説明会、4月のえんだより、ホームページ上で伝えているが園側からの発信をより強化する必要がある。
	本園の理念・目標・方針が保護者に周知されているか	B	
	理念・目標・方針に基づいた教育保育が行われているか	B	
教育・保育の計画	指導計画は乳幼児の心身の発達を踏まえ一年間の見通しを持った内容になっているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に合った計画を立て、更にその日の子どもたちの様子に合わせ臨機応変に対応していた。 ・子どもたちの「今」をしっかりと見極め進めていた。
	子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえ無理なく進めているか	A	

項目	内容	評価	取り組み状況
子どもたちの 発達援助	子ども一人一人の健康状態や発育・ 発達の状態を把握し、職員間で共有 されているか	B	・コロナもあり、朝の視診等はこ れまで以上に行われているが職員 間での「共有」が十分ではない時 があった。
	子どもたちが、安心感を持って過ご し、自分の気持ちを安心して表すこ とができるよう留意しているか	B	・自ら気持ちを表す子どもに対し ては十分な関わりが見られるが、 自らの表現が少ない子どもへの気 配りがもっと必要である。
	子どもたちの興味や関心に沿って環 境が工夫され夢中で遊ぶことを大切 に考えているか	A	・子どもたちの遊びが広がり個人 から集団、クラス、園へと広がり 遊びを深めていた。
	子どもたちの「やってみたい」「知り たい」気持ちを高め、チャレンジし てみることや最後までやり抜くこ とができるような援助をしているか	A	・子どもたちのやり抜く気持ちは 担任関係なく大切に関わっていた 場面が多く見られた。
	子どもたちが身近な自然の美しさや 不思議さを五感で感じる体験が出来 るような教育・保育が展開されてい るか	B	・身近な自然に触れる経験は未満 児、幼児共に行っていた。今後は 更にそこから、表現へも繋げて欲 しい。
	配慮が必要な子どもが安心して生活 できる保育環境が整備され、教育・ 保育の内容や方法に配慮されている か	B	・配慮が必要な子どもに対して連 携して対応していたが、全職員の 専門性を高めていく必要がある。
職員面の連携等 について	子どものことについて、保育者同士 で話し合い、クラスをこえて情報の 共有がされているか	A	・会議、休憩中を含め職員間での 子どもの姿の会話は多く聞こえて いる。また、ICTも活用しクラス を超えて情報を共有している。
保健・安全管理 について	園内外が清潔で心地よい空間になっ ているか	A	・日々の掃除に加え大掃除を年間 に3回行っている。
	個人情報の取り扱いについて、しっ かりと守られているか	A	・ホームページ掲載等、何度もの 確認を行っている。
	園で起きた事故・怪我に対して誠意 を持って対応しているか	A	・子どもの怪我は、全職員で共有 し誠意を持って対応している。
	事故予防・救急対応・火災・地震・ 不審者侵入等に臨機応変に対応出来 るよう、研修受講や訓練が行われて いるか	A	・訓練を重ね、意見を出し合い課 題、不安等を上げ、あえてその状 況になるような訓練を設定し話し 合いを行った。

項目	内容	評価	取り組み状況
保護者との連携 について	園からのおたよりやその他の方法 で、日々の子どもの様子を伝えている か	B	・ICT化も進み発信は多かった が、クラス、個人の偏りがあっ た。
	個々の子どもの様子を連絡帳や直接 的に伝え合っているか	B	・コロナ対応の送迎を行ったため 直接的な情報交換は難しかった。
	保護者の子育て感を聞き取り、連携 して子育てにあたっているか	C	・コロナ対応中、「聞き取る」と いうことが大きな課題となった。
地域子育て支援 について	地域における子育て家庭に心を寄せ 気軽に立ち寄る雰囲気があるか	B	・子育て支援「ひだまり」を行っ ているが外部への発信が更に必 要。
小学校との連携 について	円滑な接続のため小学校への訪問・ 交流を実施しているか	B	・年長児が交流会に参加した。今 後は、更に交流の回数を増やして いきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
理念・目標・方針の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・園の思いや取り組みの発信を増やす。 ・発信方法を増やし、保護者の方の園理解に繋げる。
保護者との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との日々のやり取りを丁寧に行い、これまで以上に子ども一人ひとりの姿を共有したい。
配慮が必要な子どもに対して	<ul style="list-style-type: none"> ・その時必要な対応は職員間で連携を取り行えているが職員一人ひとりの専門性を高めるための勉強や研修が必要。

6. 施設関係者評価委員のご意見

- こども園の保育理念・目標・方針を全職員の方々がよく理解し、温かい愛情と熱意を持って全力で保育に取り組んでいます。
- 園長先生のすばらしいリーダーシップにより職員間の横の繋がり双方を大切にした組織作りによって、職員の方々の豊富なご意見が引き出され、大変意欲的な組織になっていると思います。
- 昨年春からコドモンアプリより ICT を活用した取組があり、園からのお知らせ、活動の記録、かわいらしい動画等々の密な配信を頂き、保護者側もリアルタイムで正確かつ温かい情報を取得することが可能となり便利になりました。
- 子ども一人一人の個性・性格を尊重し、受け取めて頂き、その子に合った最善の愛情あふれる温かい保育をして頂きました。子どもにとって先生方は、かけがえのない信頼を寄せる大切な存在であり続けます。
- 様々な人や自然との関わりを大切に子どもら自らが生き生きと生活することができる環境が整っています。
- 先生方は、保護者の思いに真摯に寄り添い、子どもの育ち、成長を共に考え、お互いに信頼関係を築き喜び合える関係性がいつもあります。
- 体調不良・食物アレルギー等、一人一人の子どもの心身の状態等に適切な対応がされ、とても細やかな配慮を行って頂いております。
- 施設の温度・湿度・換気・採光・音等の環境を常に適切な状態に保持し、清潔な環境を保ち、施設内外の設備及び用具等の衛生管理も努めていると思います。

こども園における自己評価・施設関係者評価の結果がまとまりましたのでご報告いたします。自己評価・施設関係者評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園の資質向上に努めて参ります。